

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	1	危機管理監危機管理課				
事業区分		新規事業		政策2 安全で快適な生活環境			
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)		
防犯灯LED更新工事			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 工事請負費	① 工事請負費	6,855	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
実施計画No,							
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		6,855		
該当ページ		46 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		47 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		6,855		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和8年度	6,855			6,800	55		
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業内容：市民の通行の安全確保のため、市が設置・管理する防犯灯のLED化を行う。 ■ 目的：トータルコストに優れるLED化により、電気料金の削減及びカーボンニュートラル実現に寄与する。 						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現状 市が設置・管理する防犯灯 (406灯) は、その設置時期により水銀灯・蛍光灯・LED灯が混在している。令和2年の水銀灯生産終了とあわせて、令和9年までに蛍光灯の段階的廃止が決定されており、計画的にLED化に対応する。 ■ 積算根拠 工事請負費 6,854,900円 ■ 今後のスケジュール R8 既設防犯灯調査, 水銀灯のLED化 R9 蛍光灯等のLED化 						
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水銀灯</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>LED灯</p> </div> </div>						
無 (一覧表/図面等)							
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							

款	項	目	担当部局・課名														
2	1	4	危機管理監危機管理課														
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境													
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)												
防災・行政情報伝達システム整備 事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	9,303											
			②														
			③														
			④														
実施計画No,		⑤															
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			9,303												
該当ページ	56 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0												
	57 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			9,303												
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)											
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他												
令和8年度	9,303			6,900		2,403											
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称															
	国庫支出金																
	県支出金																
	負担金																
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	<p>■ 事業内容：音声告知放送システムの設備機器類の更新</p> <p>■ 目的：音声告知放送システムは、平成25年度から運用しており導入後10年以上が経過し、放送時に不具合が発生する可能性が高まっていることから、設備機器類を更新し、災害時の市民への継続的な情報発信ツールを確保する。</p>																
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>■ 積算根拠等 令和8年度は、FM変調器更新 (据付調整含む) 及び音声告知端末の整備を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事内容</th> <th>予算</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FM変調器等更新・据付調整</td> <td>5,233</td> <td></td> </tr> <tr> <td>音声告知端末更新</td> <td>4,070</td> <td>※端末購入または書換</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,303</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					工事内容	予算	備考	FM変調器等更新・据付調整	5,233		音声告知端末更新	4,070	※端末購入または書換	合計	9,303	
	工事内容	予算	備考														
FM変調器等更新・据付調整	5,233																
音声告知端末更新	4,070	※端末購入または書換															
合計	9,303																
別添資料	<p>無</p> <p>(一覧表/ 図面等)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">FM変調器</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">音声告知端末</div> </div>  																
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)</p>																	
<p>現在本市では、音声告知放送、防災メール、Yahoo防災、三次市公式SNSを活用し、緊急時情報発信手段の多重化・多様化に取り組んでいる。音声告知放送は音声による有効な情報発信ツールとなっており、継続的な発信機能を確保するため計画的に設備機器の更新を行う必要がある。</p>																	

款	項	目	担当部局・課名																																
9	1	2	危機管理監危機管理課																																
事業区分		継続事業 (拡充)		政策2 安全で快適な生活環境																															
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																														
消防署車両整備事業 (備北地区消防組合負担金)			① 負担金, 補助及び交付金	③ 負担金 (一部事務組合)	95,800																														
			②																																
			④																																
			⑤																																
実施計画No,																																			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	95,800																															
該当ページ		174 /頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	0																															
		175 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	95,800																															
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)																														
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																														
令和8年度	95,800			95,800	0																														
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																																	
特定財源内訳	国庫支出金																																		
	県支出金																																		
	負担金																																		
事業内容及びその目的 (めざすもの)	■ 事業内容：備北地区消防組合の車両更新の実施 ■ 目的：計画的な車両更新を行い、消防活動の更なる充実強化と災害対応への効率化を図る。																																		
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	■ 積算根拠 ○【備北地区消防組合予算】備品購入費 機械器具費：95,800千円 単位：千円 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">積算金額</th> <th colspan="2">負担内訳</th> </tr> <tr> <th>三次市</th> <th>庄原市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ車 (三次消防署)</td> <td>65,955</td> <td>36,635</td> <td>29,320</td> </tr> <tr> <td>化学車 (庄原消防署)</td> <td>106,516</td> <td>59,165</td> <td>47,351</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>172,471</td> <td>95,800</td> <td>76,671</td> </tr> </tbody> </table> 令和8年度分担金比率 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>構成市</th> <th>基準財政需要額</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三次市</td> <td>1,022,956</td> <td>55.546</td> </tr> <tr> <td>庄原市</td> <td>818,688</td> <td>44.454</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,841,644</td> <td>100.000</td> </tr> </tbody> </table>					区分	積算金額	負担内訳		三次市	庄原市	ポンプ車 (三次消防署)	65,955	36,635	29,320	化学車 (庄原消防署)	106,516	59,165	47,351	計	172,471	95,800	76,671	構成市	基準財政需要額	比率 (%)	三次市	1,022,956	55.546	庄原市	818,688	44.454	計	1,841,644	100.000
区分	積算金額	負担内訳																																	
		三次市	庄原市																																
ポンプ車 (三次消防署)	65,955	36,635	29,320																																
化学車 (庄原消防署)	106,516	59,165	47,351																																
計	172,471	95,800	76,671																																
構成市	基準財政需要額	比率 (%)																																	
三次市	1,022,956	55.546																																	
庄原市	818,688	44.454																																	
計	1,841,644	100.000																																	
別添資料	■ 経過 ポンプ車 (三次消防署) 及び化学車 (庄原消防署) について、車両更新計画に基づき更新を行う。 【経過年数】ポンプ車：19年, 化学車：21年 【走行距離】ポンプ車：120,429km, 化学車：86,841km																																		
無 (一覧表/図面等)	継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																																		
車両の不具合等により消防・救急活動等に支障がないよう、計画的な車両更新を行い、市民の安心・安全を確保する必要がある。																																			



款	項	目	担当部局・課名		
9	1	2	危機管理監危機管理課		
事業区分		新規事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
防火服更新事業 (備北地区消防組合負担金)		① 負担金, 補助及び交付金	③ 負担金 (一部事務組合)	4,308	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		4,308	
該当ページ	174 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	175 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		4,308	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	4,308				4,308
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
特定財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	■ 事業内容：備北地区消防組合の防火服の更新 ■ 目的：防火服を更新し，消防活動の活動性及び安全性の向上を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	■ 経過 平成30年に消防庁が改訂した「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」では，建物火災での屋内進入時における安全性向上を目的に，装備の機能・性能基準が見直された。 現行の防火服は，導入から15~17年が経過し更新時期を迎えていることから，令和8年度~令和13年度の6か年計画により，上記ガイドラインに準拠した防火服に更新する。 ■ 積算根拠 ○【備北地区消防組合予算】備品購入費 その他備品購入費：7,755千円 単位：千円				
	区分	積算金額	負担内訳		
			三次市	庄原市	
	防火服 (@258,500円×30着)	7,755	4,308	3,447	
	令和8年度分担金比率				
	構成市	基準財政需要額	比率 (%)		
	三次市	1,022,956	55.546		
	庄原市	818,688	44.454		
	計	1,841,644	100.000		
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
更新後の防火服イメージ 					
継続事業> 過去実績を検証して，変更した点 (ICTの導入，DX等による手続きの簡素化，事業内容見直し，対象者拡大など) または，継続としたその主な理由 (要綱等の定め，費用対効果が大きい，対象が限定的，地域等との協議に基づく取組など)					

款	項	目	担当部局・課名													
9	1	3	危機管理監危機管理課													
事業区分		継続事業 (拡充)		政策2 安全で快適な生活環境												
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)											
広域避難場所等整備事業			① 公有財産購入費	② 土地購入費	36,525											
			② 工事請負費	① 工事請負費	50,600											
			③													
			④													
実施計画No,		⑤														
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			87,125											
該当ページ	176 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0											
	177 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			87,125											
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)										
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他											
令和8年度	87,125			65,300		21,825										
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称														
	国庫支出金															
	県支出金															
	負担金															
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>■ 事業内容：高平地区に自家用車等で一時的な避難をするための広域避難場所として、駐車場等を整備する。</p> <p>■ 目的：大規模浸水時等に、市民が自家用車等で一時的に避難できる広域避難場所を整備し、市民の生命財産を守る。</p>															
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>■ 経過</p> <p>令和6年度 調査研究業務 令和7年度 広域避難場所等整備に係る実施設計</p>		 <p>広域避難場所 配置イメージ</p> <p>広域避難場所 整備予定地</p> <p>消防新庁舎</p>													
	<p>■ 積算根拠</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概算事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地購入費</td> <td>36,525</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">工事請負費</td> <td>舗装工事ほか</td> <td>28,500</td> </tr> <tr> <td>照明工事ほか</td> <td>17,400</td> </tr> <tr> <td>水路工事</td> <td>4,700</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>87,125</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装面積：1,480㎡ 駐車可能台数：50台程度</p>					項目	概算事業費	土地購入費	36,525	工事請負費	舗装工事ほか	28,500	照明工事ほか	17,400	水路工事	4,700
項目	概算事業費															
土地購入費	36,525															
工事請負費	舗装工事ほか	28,500														
	照明工事ほか	17,400														
	水路工事	4,700														
	50,600															
合計	87,125															
別添資料	無 (一覧表/図面等)															
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>																
<p>広島県から取得した高平施設用地を活用し、市民の安全を確保する広域避難場所を整備するもので、継続事業として実施する。</p>																

款	項	目	担当部局・課名																																				
9	1	4	危機管理監危機管理課																																				
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境																																			
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																																		
流域治水事業 (排水ポンプ場長寿命化整備)		事業 (経費) 内の主たる費目	①	工事請負費	①工事請負費	66,000																																	
			②																																				
			③																																				
			④																																				
			⑤																																				
実施計画No,																																							
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		66,000																																		
該当ページ		178 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0																																		
		179 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		66,000																																		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																																	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																																		
令和8年度	66,000		28,000	34,800		3,200																																	
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																																					
特定財源内訳	国庫支出金																																						
	県支出金	基盤整備促進事業補助金 (農業水路等長寿命化・防災減災事業)																																					
	負担金																																						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業内容：市内排水機場ポンプ設備 (上志和地排水機場, 住吉ポンプ場) 長寿命化整備 ■ 目的：供用開始から30年以上経過したポンプ設備について、計画的に設備の長寿命化整備を行うことで機能を確保し、当該地域の内水被害の軽減を図る。 																																						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>上志和地排水機場</th> <th>住吉ポンプ場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供用開始</td> <td>平成3年6月</td> <td>平成5年3月</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>横軸斜流ポンプ 2基 (No.1:Φ1,200, No.2:Φ700)</td> <td>水中ポンプ 2基 (Φ500×2)</td> </tr> <tr> <td>排水能力</td> <td>4.49m³/s (No.1:3.33m³/s, No.2:1.163.33m³/s)</td> <td>0.90m³/s (0.45m³/s×2)</td> </tr> <tr> <td>その他設備</td> <td>自家発電設備・電気設備・除塵機など</td> <td>自家発電設備・電気設備など</td> </tr> </tbody> </table> ■ 事業費・事業スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>工事内容</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上志和地排水機場</td> <td>No.1主ポンプ分解整備工事</td> <td>212,000</td> <td></td> <td>※事業期間はR7~8 (繰越)</td> </tr> <tr> <td>除塵機分解整備工事</td> <td></td> <td>42,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住吉ポンプ場</td> <td>発電機原動機分解整備工事</td> <td></td> <td>24,000</td> <td>※調整中</td> </tr> </tbody> </table> 						上志和地排水機場	住吉ポンプ場	供用開始	平成3年6月	平成5年3月	ポンプ	横軸斜流ポンプ 2基 (No.1:Φ1,200, No.2:Φ700)	水中ポンプ 2基 (Φ500×2)	排水能力	4.49m ³ /s (No.1:3.33m ³ /s, No.2:1.163.33m ³ /s)	0.90m ³ /s (0.45m ³ /s×2)	その他設備	自家発電設備・電気設備・除塵機など	自家発電設備・電気設備など	区分	工事内容	R7年度	R8年度	備考	上志和地排水機場	No.1主ポンプ分解整備工事	212,000		※事業期間はR7~8 (繰越)	除塵機分解整備工事		42,000		住吉ポンプ場	発電機原動機分解整備工事		24,000	※調整中
	上志和地排水機場	住吉ポンプ場																																					
供用開始	平成3年6月	平成5年3月																																					
ポンプ	横軸斜流ポンプ 2基 (No.1:Φ1,200, No.2:Φ700)	水中ポンプ 2基 (Φ500×2)																																					
排水能力	4.49m ³ /s (No.1:3.33m ³ /s, No.2:1.163.33m ³ /s)	0.90m ³ /s (0.45m ³ /s×2)																																					
その他設備	自家発電設備・電気設備・除塵機など	自家発電設備・電気設備など																																					
区分	工事内容	R7年度	R8年度	備考																																			
上志和地排水機場	No.1主ポンプ分解整備工事	212,000		※事業期間はR7~8 (繰越)																																			
	除塵機分解整備工事		42,000																																				
住吉ポンプ場	発電機原動機分解整備工事		24,000	※調整中																																			
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>上志和地排水機場</p>  <p>No. 1 主ポンプ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>除塵機</p>  <p>除塵機</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>住吉ポンプ場</p>  <p>発電機の原動機</p> </div> </div>																																						

継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)

上志和地排水機場については、令和5年度から実施した1期工事に続いて、令和7年度から2期工事としてNo.1ポンプ設備整備工事を実施しており、R8年度においては除塵機分解整備工事を実施するための予算 (42,000千円) を計上している。

また、その他ポンプ場においても河川増水時の内水被害軽減を図るため、排水機場の機能を確保するとともに設備の長寿命化を目的として整備するため継続事業とし実施する。

款	項	目	担当部局・課名		
9	1	5	危機管理監危機管理課		
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
自主防災組織活動支援事業 ほか		① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	5,670	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		5,670	
該当ページ		180 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	0	
		181 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	5,670	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	5,670				2,461
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	市町村振興協会助成金 安全・安心まちづくり事業助成金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>■ 事業内容：地域防災力向上のための自主防災組織の支援，地域避難場所等の運営補助支援，防災士の資格取得及び活動支援</p> <p>■ 目的：自主防災組織による防災訓練等の活動や地域避難場所等の開設・運営を支援する。また，市民啓発の人材として防災士の育成及び活動支援により，地域防災力の向上を図る。</p>				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>■ 積算根拠</p> <p>① 自主防災活動補助金 @280千円×19組織 = 5,320千円 【補助対象経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災に係る啓発や防災訓練等の実施に係る経費 (訓練参加者数：R7見込4,500人，R6実績4,348人) ・災害備蓄品の整備に係る経費 ・避難行動要支援者の支援の取組に係る経費 <p>② 地域避難場所等運営補助金 @5千円×20箇所分 = 100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域避難場所等 (自主防災組織単独で開設する補助避難所を含む) の開設・運営 5,000円/日 <p>③ 防災士育成事業補助金 @30千円×5人分 = 150千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講費用の2分の1, 上限30千円を補助 (受講料は63,800円 (受験料, 防災士登録料含む)) ・三次市防災士ネットワーク加入人数：120人 (R8.2.1現在) <p>④ 防災士活動補助金 100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士のスキルアップ研修, 訓練, 防災教育等に必要資機材に係る経費 				
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>酒屋地区自主防災会が実施した 避難訓練及び防災研修会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防災士, 自主防組織, 市職員合同による 避難所開設運営訓練の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神杉小学校で防災士が実施した 防災教育の様子</p> </div> </div>				
無 (一覧表/図面等)					
<p>継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>					
<p>自主防災組織が当該地域の防災力向上を図るため継続した支援が必要である (要綱による事業期間：令和10年3月31日まで)。</p>					

款	項	目	担当部局・課名		
9	1	5	危機管理監危機管理課		
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		事業(経費)内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額(千円)
避難行動要支援者支援事業			① 需用費	①消耗品費	30
			② 需用費	④印刷製本費	28
			③ 需用費	①通信運搬費	132
			④ 使用料及び賃借料	⑥事務機器等借上料	1,491
			⑤		
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,681
該当ページ		178 /頁	⑦その他の節など(上記以外)の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		0
		181 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,681
歳入に関する項目	予算額(千円)	特定財源内訳(千円)			一般財源(千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和8年度	1,681				1,681
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
特定財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的(めざすもの)	<p>■事業内容：避難行動要支援者システムによる名簿情報の管理、更新及び作成と作成した名簿情報をもとにした個別避難計画の作成</p> <p>■目的：避難行動要支援者名簿(年2回更新)の名簿情報により、要支援者一人ひとりの個別避難計画の作成を推進することで、要支援者の避難の実行性を高め、共助による避難支援等の意識向上と定着を図る。</p>				
事業の積算根拠等(詳細説明)事業一覧表/状況写真/図面等	<p>■積算根拠</p> <p>① 消耗品費：30千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 返信用封筒等事務用品の購入 長3号封筒1,000枚(新規対象者等年間1,000人程度発送予定) 1,000枚×30円=30,000円 <p>② 印刷製本費：28千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規対象者等へ通知文書等発送する際の封筒の印刷製本費として 窓あき封筒(印字有)1,000枚(新規対象者等年間1,000人程度発送予定) 1,000枚×28円=28,000円 <p>③ 通信運搬費：132千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規対象者等へ通知文書等発送する際の郵送料 郵送料：1,200件×110円=132,000円 <p>④ 事務機器等借上料：1,491千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者管理システムの賃貸借契約として 期間①：令和3年11月から令和8年10月31日(地方自治法に基づく長期継続契約) 124,080円/月×7月=868,560円 期間②：令和8年11月から令和13年10月31日(地方自治法に基づく長期継続契約) 124,388円/月×5月=621,940円 				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点(ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など)または、継続としたその主な理由(要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>避難行動要支援者の支援の取組は、地域の実情に合わせた取組が重要であり、市は共助による継続した取組が進められるよう自主防災組織や、民生委員、福祉事業所等と協力・連携体制の構築を図りながら取組を進めていく必要がある。</p> <p>現在長期継続契約で導入している管理システムについて、令和8年10月末で契約が満了となるが、システムによる効率的な避難行動要支援者名簿の作成が行えているため、引き続き本システムを利用する。</p>					